



活動に参加してください!!

平和学園小学校同窓会長 倉澤 条太

平和学園小学校同窓会のみなさま、会長就任の1年目・2007年度の行事をみなさんのご協力により成し遂げられたことを、心よりお礼申し上げます。

今年度は同窓会活動を通して、少しでも皆様と平和学園の距離を縮めていきたいと思っております。

では5月24日の世話人総会で承認された2008年度の活動方針について報告します。活動の内容をご理解の上、さらなるご協力をお願いいたします。

1. バザーの拡充

今年は11月8日(土) 11時から

上の年代の方は平和学園全体、幼稚園から高等学校まで一緒になってバザーを開催していたことを覚えておられると思います。小学生は夏休みの作品展、中高生はクラブ活動の発表などが同時に開催されていました。現在は幼稚園と小学校のみがそれぞれ別個にバザーを開催しており、どちらも関係者はもちろん、近隣や常連の方々の楽しみになっていることでは昔と変わりません。

小学校同窓会もここ数年、会員からの寄贈品販売を中心にバザーに参加して、収益の一部を母校に寄附し、備品購入などに役立ててもらってきました。

しかし、寄贈品は年々減少し、大口のブランド食器等の寄贈があった年はともかく、収益も“寄附”というにはあまりにも少額な状態です。そこで今年は商売をされている方々に、アウトレット品、見本品、型落ち品等でもけっこうですから、積極的な寄贈をお願いしたいと思います。ぜひ、手を挙げてください。

昨年のバザーの折に、今小学校PTAである同窓会員(平たく言えば、卒業生でお子さんを平和学園小学校に通わせているお父さんたち)から模擬店での参加希望の声が上がったということを岡崎校長先生からうかがいました。そういった意志のある方たちにも積極的に参加していただきたいと思っています。後の項でも述べますが、現在同窓会の中心で活動しているのは15名前後の“代表世話人”という役の会員です。アイデアがあっても、実行するには人手がない状態なのです。手を挙げてくださるのを待っています。

2. ホームカミングデーの刷新

バザーと同時に開催し、イベントを企画

ホームカミングデーはこれまで母校音楽室を借りて、立ち寄ってくださる会員に旧交を温める場を提供していましたが、これからは会員の作品展、ミニ・コンサートなどバザー以外にも楽しめる催し物を企画することにしました。

今年は内藤行君(平成5卒)の陶芸展を計画中です。一部の作品の即売もいたします。ぜひ、お出かけください。

自薦他薦を問わず、プロ、アマにかかわらず、来年以降の参加を募りますので、これにもどしどし手を挙げてください。

3. 代表世話人会の拡大増強/住所不明者の情報

各学年世話人の活動への参加促進・名簿の更新

「バザー」の項でふれましたが、現在、同窓会の中心で主に活動しているのは“代表世話人”という役の会員です。各学年に“世話人”という役の方々が選ばれていて、同窓会事務局の呼びかけに応じて積極的に活動している者がなりゆきで“代表世話人”となってきました。

活動の企画やアイデアを出しながら充実した同窓会の運営を行い、継続していくには、広い世代にわたってもっと多くの“代表世話人”が出てほしいものです。今回各学年の「世話人名簿」を作りました。卒業時に選出された方がそのままになっている学年や選出がない学年もあります。クラス会の幹事役や世話人に選ばれている方々は、ぜひ現状を検討の上、必要であれば改めて“世話人”の人選をして、事務局に連絡くださるようお願いいたします。

毎年この「まつかぜ」を会員に送ることが会員と同窓会とのつながりの大きな部分を占めていますが、住所不明で差し戻されるものが毎年出ます。現在事務局が把握している会員1,645名中458名の住所が不明です。名簿の更新のため最新のクラス会名簿を提供していただくと大変助かります(同窓会は中途転出者等も会員になっているので、会員数は卒業者数とは異なります)。

4. 維持会費の変更

年会費1,000円を一口1,000円に変更

現在同窓会が負担している郵貯口座の払込手数料(3万円まで120円)が納入分の12%になり、その負担割合を減らす目的で昨年は試験的に2年分の納入をお願いしました。その結果、総額は増え払込手数料の割合は減少したのですが、1年分にするとこれまでの実績を下回ってしまいました。

そして、これまでも「改まって寄附というほどではないから。」と定額1,000円に上乗せした会費を寄せてくださる方も多いことから、今年からは一口1,000円という形をお願いすることにしました。

今まで卒業後10年(およそ大学卒業)までの方には会費免除ということから払込用紙を送っていませんでしたが、今年は会員全員に払込用紙を送ります。その理由のひとつは、会員全員への大量の郵便物の重量に差があると、発送作業に手間がかかる上に郵送料が高くなるという郵便料金体系にあります。昨年払い込みを失念された方はぜひ今年はお寄せください。2年分を寄せてくださった方はご寄附分をお寄せいただけるとありがたいです。

◎小学校同窓会事務局は組織上のもので、学園内の校友会事務局(担当:竹崎)が窓口になっています。連絡は月・木・金の午後、電話0467-87-0174にお願いします。

理事長として、前同窓会長として 見た平和学園の1年

学校法人平和学園理事長 山口 洋一郎

倉澤会長に小学校同窓会長をバトンタッチしてはや1年3ヶ月余りが過ぎました。同窓生としてはじめて学校法人平和学園の理事長という要職をお引き受けした私ですが、わずかな期間でしかありませんが振り返ってみて学園の側から見た同窓会への感想をお話したいと思います。

私が大石元会長から引き継いで6年余りの間に、小中高同窓会（小中は一緒に活動）の連合組織である校友会を吉田前校友会会長が中心に設立され、一応同窓生の組織が固まってきました。そして、創立60周年記念事業においては、学園・保護者・同窓生が60周年記念実行委員会コア委員会を組織し、3者が力を合わせて成果を上げることができたのはご承知のとおりです。この60周年記念事業に込められた要諦は、「平和学園創立者である賀川豊彦先生、村島帰之先生の創立の精神に立ち返り、新たな歩みの礎としましょう。そして、3者が協力して学園を盛り立てていきましょう。」と誓ったことでした。その後、学園では学園長に中山洋司先生が就任され、校友会では藤野会長、小学校同窓会は倉澤会長、中学校は小学校から独立して山本会長、遠藤高校同窓会長のもとで現在それぞれ活動をしています。

同窓会長の時には、会員の意識を高め、先ず恒常的に組織的に動くことを目標に、定期的に代表世話人会を開き、会の活動をを支える為の原資としては、小学生の卒業時の会費のほか、維持会費の導入などを進めてまいりました。おかげさまで、約2割の300名程の会員に維持会費を納めていただいています。同窓会活動の目的は、会員の親睦と学園への支援であります。親睦活動は、情報としての「まつかぜ」の定期的発行（最低年1回）と、学校とのつながりの場として小学校

バザーへの参加とホームカミングデーを実施しましたが、残念ながら参加はまだまだごく一部の会員に限られています。

学園への支援活動としては、校友会をとおして60周年には力を発揮していただいたものの、その後の活動としては具体的内容が煮つまってはいないようです。支援していただく学園の立場から考えますと、校友会が取りまとめて、第一に財政的支援をしていただければ何よりです。多ければ多いほど助かりますが、学園の児童、生徒達を直接応援するような支援が良いのではないかと思います。例えば、〇〇賞とかです。

もう一つは、精神的支援すなわち学園を地域社会に宣伝していただきたいということです。幸い、今年3月のアレセア湘南高等学校の大学進学は目覚ましい成果を挙げました。京都大学などの国立大学、そして早稲田、慶応、上智、青山、明治学院などの有名私立大学などに多くの生徒が合格し、「サンデー毎日」では、これから伸びる学校として大きく誌面に取り上げられました。また、近年、部活動が盛んになってきました。ご承知の高校野球神奈川県予選に3年前から出場するなど（まだ成果は挙げられませんが）各部がグラウンド・体育館でとこと狭しと走り回っています。いわゆる、“知育”だけでなく“体育”も盛んになってきています。勿論、“徳育”はキリスト教学校として毎日朝の礼拝を行い、生徒一人一人の心に「人の為に生きること」を刻んでいます。

このように学園は、中山学園長の指導のもと大きく良い方向へ前進しています。地域の人からも異口同音に「いい学校ですね」「よくなってきましたね」などお褒めの言葉よく聴くようになりました。是非、同窓生の皆様、熱心に考えておられる倉澤会長のもと、同窓会の種々の活動をとおして、又日常の地域社会の中で、自信を持って大いにアレセア湘南、平和学園を宣伝してください。そのことが、学園在校生にとっても卒業した同窓生にとっても誇りとなり、創立者の精神を実現し、地域の中で愛され必要とされる学校となっていくことにつながると考えています。

校友会からの お知らせとお願い

昨年9月1日に卒業生の岡田乃野子さんが茅ヶ崎国際交流協会主催による「チャリティー・ヴァイオリン・コンサート」を平和学園賀川村島記念講堂で開催しました。平和学園・アレセア湘南校友会でも、地域に平和学園を知っていただき共に楽しむことと、収益を学園の奨学制度やクラブ活動に役立てることを願って、このようなコンサート活動を展開する計画です。出演者を必ずしも卒業生だけに限らず、卒業生の縁故から広く募っています。発表の場を求めている方々と学園関係者、地域の方々、みなさんに喜んでいただける企画になればと思います。お申し出、推薦を待っています。

また、これまで学園主催で毎年開催されてきた「クリスマス・チャリティー・パイプオルガン・コンサート」を第23回の今年度は校友会主催で12月13日に行うことになりました。これまでチャリティーに寄せられた浄財は学園と縁のある近隣の非営利団体に贈呈しております。多数のご来場を願うとともに、協賛して下さる方々を求めています。

当日のスタッフが20名必要です。お手伝いいただける方、ぜひご連絡ください。

2007年度会計報告 (単位:円)

収 入	2006年度維持会費	1,000
	2007年度維持会費	209,000
	新卒者入会金(27名)	270,000
	バザー売上	23,980
	中学同窓会より負担金	30,000
	懇親会会費	15,500
	預金利息	4,758
前期繰越残高	2,577,902	
合 計		3,132,140
支 出	2006年度維持会費振込手数料	120
	2007・2008年度維持会費振込手数料	17,100
	2007年度校友会	81,000
	バザー売上より寄附	15,000
	ホームカミングデー接待費	2,200
	通信費	6,470
	印刷費	77,950
	会議活動費	44,520
	記念品	56,700
	消耗品・雑費	8,766
次期繰越残高	2,674,432	
合 計		3,132,140
期末資産残高		
次 期 繰 越 残 高	2,674,432	
2008年度 前 受 会 費	209,000	
合 計	2,883,432	

こんにちは!!

小学校長 岡崎 一実

平和学園小学校卒業生のみなさま、こんにちは。今年も「まつかぜ」でお目にかかることができ、たいへんうれしく思っております。では、2007年度のあゆみをふりかえりながら、小学校の一年間のようすをご紹介いたします。

4月29日には「ブレイデー」が盛大に開かれました。ブレイデーは、新一年生の歓迎と卒業生のホームカミングデーを兼ねて毎年この日におこなっている行事です。高校生までにはご案内のハガキもさしあげています。ここ数年で参加者が大幅に増え、グレーニアホールに入りきれないほどたくさんの方が集まってくださるようになりました。ともにスポーツで汗を流し、ともに食事をいただきながら、平和学園につながる者同志よき交わりのときをすごしています。

毎年9月下旬におこなっている「平和をともに」という行事があります。今回は小学校で長く教鞭をとられた横山哲夫先生をお招きして礼拝を守り、「戦争の時代 わたしの思い出」と題してお話をいただきました。横山先生は、80歳を越えているとはとても思えない若々しいお姿で登壇され、子どもたちに平和のメッセージを届けてくださいました。お話の内容は学園ホームページ「法人ニュース」の中の「アレセイアの輝き」で読むことができます。

バザーは11月3日、たくさんの方のご協力で実施することができました。同窓会のみなさまから今年もご寄付をいただき、PTAからのご寄付とあわせ教育活動を充実させるための備品を購入いたしました。なお、2008年度のバザーは都合により11月8日(土)におこないます。お間違いなきようご来校ください。

年があけて三学期、2007年度の卒業式が3月15日におこなわれ、27人の子どもたちが学び舎を巣立っていきました。小学校の卒業生はこれで1,578人になりました。卒業式には倉澤会長がご出席くださり、はなむけの言葉を頂戴しました。また、ネーム入りのペンケースを同窓会からの記念品として頂戴しました。今年も卒業生のうち15人がアレセイア湘南中学校へ進学し、2年つづけて半分以上の子が併設中学へ進学したことになります。そして、4月9日、26人の一年生をむかえ、2008年度をスタートしたところです。現在、153人の児童のうち小学校卒業生のお子さんが13人在学しています。

卒業生のみなさまには、今年度も平和学園小学校へのご支援ご協力を賜りたく、どうぞよろしく願いいたします。

*小学校のようすを毎日お届けしている学校ブログ「平和の窓」も3年目をむかえ、アクセス数も順調に増えています。公開行事などのご案内も掲載してあります。どうぞ“平和学園”で検索して、ご覧になってください。



【職員動静】

(2008. 4. 1 現在)

- 勝間亜紀子先生 2008年1月から産休・育休。
2月にご長女を出産されました。
- 石橋 義一先生 2008年4月、中高へ。
- 雫 永法先生 2008年4月、幼稚園から復帰。
- 臼屋 幸先生 2008年4月、新規採用。

【訃報】

- 笠野 欣二先生
1982~87年度の6年間小学校校長として在職された笠野欣二先生が、6月19日、89歳で召天されました。

公開行事予定

平和をともに	9月25日(木)~27日(土)
学芸会	10月25日(土)
バザー	11月8日(土)
パイプオルガンコンサート	12月13日(土)
クリスマス礼拝	12月16日(火)
児童造形展(神奈川県民ホール)	2月中旬
学習発表会	3月6日(金)
お話し会	毎週火曜日9時15分より

2009年度児童募集

第1回小学校入学選考

- ◆願書受付 / 9月27日(土) ~ 10月3日(金)
(日曜日を除く)
- ◆募集人員 / 27名
- ◆選考日 / 10月21日(火)

第2回小学校入学選考

- ◆願書受付 / 10月22日(水) ~ 11月7日(金)
(土・日・祝日を除く)
- ◆募集人員 / 若干名
- ◆選考日 / 11月18日(火)

※オープンスクール・学校説明会 9月27日(土)
※学校見学・進学相談などは随時承っております。電話
でのご予約をお願いいたします。

TEL 0467-87-1662

ありがとう平和学園

中嶋 皓夫



思えば、夢のように過ぎた三年間でした。平和学園小学校一、教師という仕事のすばらしさ、醍醐味を味わわせてもらいました。子どもと過ごした時間、感動の連続、43年たった今もむしろになつかしく、忘れがたい思い出がいっぱいです。

平和学園、何と言っても自由がありました。創意に満ちた自由な教育、子どもの創意とか創造とか大事にしようというのが先生たちの考え方でした。教育方針に沿って教える自由あり、学ぶ自由あり、子どもの為になることだったらどんなことも許され、保護者の方も応援してくれました。当時（昭和三十八年頃）はうっそうとした松林の中に平屋の木造校舎が点在していて、教室から直に松林の庭に出入りができ、庭に出て歌を歌ったり、絵を描いたり、草花を観察したり、休み時間には鬼ごっこをして遊びました。海も近く、しょっちゅう子どもたちと海へ遊びに出かけました。子どもたちは、あのすばらしい環境の中で本当にのびのびと育ちました。自由な教育方

なつかしい先生からの便り

同窓生からの便り

「まつかぜ」の縁

(昭和42年卒・茅ヶ崎市美術館長) 小川 稔



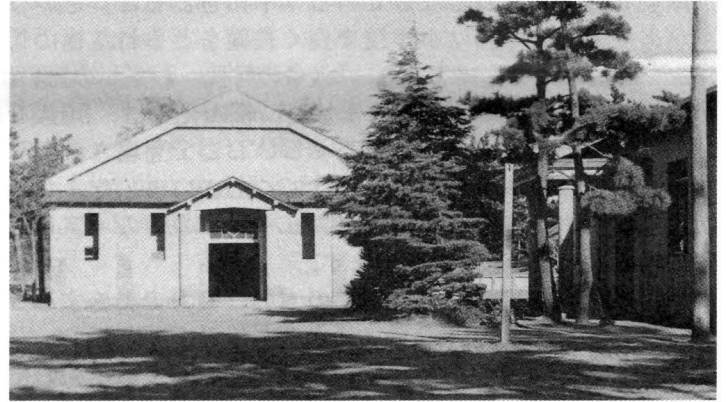
「まつかぜ」という懐かしい会報の名に誘われていろいろなことが思い出される。平和学園小学校に通ったのはもう50年も昔のことなのだけれど。

今年4月、久しぶりで同窓の有志数人が茅ヶ崎で再会した。面白かったのは各人が覚えていることがらが、断片ながら半世紀たっても不思議と鮮明であることだ。この日のためにわざわざ帰国した在米の勝又鍾一君は当時図書室に掲げられていた聖句を覚えているという。それだけでなく渡米後、彼はいろいろな面で平和で学んだことが糧になり支えられたのだそうだ。そういうことを聞いてわれわれは今更ながら平和に学んだことのありがたさがわかってきたという次第。

私たち家族は昭和35年に東京から茅ヶ崎東海岸に転居した。私が平和学園小学校に入学したのはその翌年のこと。我々の学年は卒業時で24名の小クラスで、現同窓会長倉澤条太君も同級の一人であった。元気一杯の少年時代の面影は今も変わらない。個人的に先ず思い出すのはあの広い校庭。潮風が吹き抜ける松やニセアカシアの木立、その間に点在していた古い校舎のことなどである。毎朝茅ヶ崎駅前に友人と待ち合わせ自転車で通学した。鉄砲道はまだ貫通して

針の中で、私は子どもたちに歌を教えました。朝も昼も放課後も、歌ばかり歌って過ごしたように思います。本当に一生懸命教えました。子どもたちも一生懸命歌ってすごくうまくなって、グノーのアヴェマリアとか、ヘンデルのハレルヤコーラスやアーメンコーラス、オペレッタなど難しい歌も歌うようになりました。一生懸命に歌う一人一人の子どもたちの顔、今もはっきりと思い起こすことができます。

その後私は平和から公立学校に移りましたが、失望することが多く、平和での体験がいかに貴重だったか、改めて知ることができました。特に最近の公立学校、多忙化し先生が子どもと向き合う時間がないとか、人事評価が導入され管理監督され、教える内容も厳しく決められ教育の自由とか創造とかからずいぶんかけ離れた所にあると聞きます。そんな時一層思いがこみ上げて来ます。平和学園、ありがとう。子どもたち、ありがとう、と。



いなかったと思うが団十郎の屋敷跡や村島先生の旧居の前を通るとやがて小学校の正門が見えてくる。のんびりとしたいつまでも続くような時間。たしかに、今思い返せばかけがえのない日々であった。

もうひとつ個人的には大切な思い出として、絵を描くことの楽しさに目覚めたことがある。平和の近所にお住まいの画家、安沢鈴子先生が教えに来て下さっていた。先生は生徒に強制せず自由に好きなようにいつもおっしゃっていた。それが楽しく、週末には先生のお宅でも教えていただいた。子供心にもとても繊細な色彩表現をなさる方だった。マリー・ローランサンがお好きだとおっしゃっていたことも思い出す。どなたかその後の先生のお消息をご存知の方はいらっしゃらないだろうか？

縁はつづく。私は今年4月より茅ヶ崎市美術館長に就任し、微力ながら地域の文化活性化のために働いている。そしてこのモダンな美術館の建築をデザインなさったのが皆様ご存知のように我々の先輩で現理事長の山口洋一郎さんなのである。

このようにいろいろな方のご縁に支えられていることを日々実感するこの頃である。

編集後記

これまで6年間「まつかぜ」発行の中心になっていた岡田枝木子さんが介護のために引かれまして。岡田さん、長い間ありがとうございました。今年は代表世話人会協同編集発行とし、新たに横書きの紙面を試みました。読みやすさはいかがでしょうか？紙面に対するご希望、投稿などお待ちしております。「まつかぜ」発行の手助けをしてくださる方、発行作業に興味のある方、いらっしゃいませんか？「まつかぜ」限定でかまいませんので、お申し出ください。

クリスマス・チャリティー パイプオルガン コンサート

日時：12月13日(土) 14時から
場所：平和学園賀川村島記念講堂
演奏者：岡井 晃

(日本基督教団平塚教会オルガニスト・青山学院大学名誉教授)

バザー & ホームカミングデー

11月8日(土) 11時より開催
(同窓会スペースにおいて)
内藤 行 陶芸作品展 開催

なつかしい母校にお出かけください。
なつかしい出会いが生まれますように。